

平成27年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅣ(Seminar Ⅳ)		授業コード	E002712
担当教員名	工藤 順一		科目ナンバリングコード	E41204
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分	必修	単位数	4	
履修上の注意または履修条件	いよいよ最終学年です。この1年間は就職活動をしながら卒業論文を作成します。早めに準備して、計画的に進めていきましょう。			
受講心得	ゼミには、受け身ではなく、攻める積極性をもって参加してください			
教科書	レジュメや日本経済新聞の切抜記事(教員側が用意)			
参考文献及び指定図書	その他参考文献については講義の際に指示します。			
関連科目	経営学、起業学等のすべての科目に関連しています。			

授業の目的	このゼミでは、企業や官庁の方々と接することにより、実践的な職業能力を備えるとともに、就職直前の皆さんが、社会の仕組みを理解することを目的としています。
授業の概要	授業では、日本経済新聞や経営学に関する書籍を調べながら進めていきます。また、企業の経営者や銀行の行員の話聞きながら、卒業論文のテーマに沿って卒論を書いていきます。その中で起こってくる様々な疑問点を、意見交換しながら解消していきたいと考えます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ゼミナールⅣの概要説明 卒業論文と就職活動の進め方について、概要を説明します。	配布資料 研究課題とその進め方
第2週：卒業論文の書き方について(1) 日経新聞や日経流通新聞を使用して、卒業論文のテーマの絞り込みを行います。	配布資料 研究課題とその進め方
第3週：卒業論文の書き方について(2) 安心院イモリ谷に関する論文を使用して、卒業論文の構成を考えます。	配布資料 研究課題とその進め方
第4週：卒業論文の書き方について(3) グループに分かれて、卒業論文のテーマについて議論していただきます。	配布資料 研究課題とその進め方
第5週：卒業論文の書き方について(4) 各グループで決めた卒業論文のテーマに沿って、基本計画を作成していただきます。	配布資料 研究課題とその進め方
第6週：卒業論文の資料収集(1) 各自図書館の書籍や新聞記事から、卒業論文の資料収集を行います。また、個別面談も実施しながら質問を受け付けます。また、外部からも講師に来ていただき意見交換をします。	配布資料 研究課題とその進め方
第7週：卒業論文の資料収集(2) 各自図書館の書籍や新聞記事から、卒業論文の資料収集を行います。また、個別面談も実施しながら質問を受け付けます。また、外部からも講師に来ていただき意見交換をします。	配布資料 研究課題とその進め方

第8週：卒業論文の資料収集(3)		
各自図書館の書籍や新聞記事から、卒業論文の資料収集を行います。また、個別面談も実施しながら質問を受け付けます。また、外部からも講師に来ていただき意見交換をします。		配布資料 研究課題とその進め方
第9週：卒業論文の資料収集(4)		
各自図書館の書籍や新聞記事から、卒業論文の資料収集を行います。また、個別面談も実施しながら質問を受け付けます。また、外部からも講師に来ていただき意見交換をします。		配布資料 研究課題とその進め方
第10週：卒業論文の資料収集(5)		
各自図書館の書籍や新聞記事から、卒業論文の資料収集を行います。また、個別面談も実施しながら質問を受け付けます。また、外部からも講師に来ていただき意見交換をします。		配布資料 研究課題とその進め方
第11週：卒業論文の資料収集(6)		
各自図書館の書籍や新聞記事から、卒業論文の資料収集を行います。また、個別面談も実施しながら質問を受け付けます。また、外部からも講師に来ていただき意見交換をします。		配布資料 研究課題とその進め方
第12週：就職活動の成果発表と卒論の進捗発表		
内定をもらった企業についての情報等について意見交換します。また、卒論の進捗状況も発表していただきます。		配布資料 研究課題とその進め方
第13週：卒業論文について各自発表(1)		
卒業論文の進み具合を確認します。卒論の大まかな流れを発表してください。		配布資料 研究課題とその進め方
第14週：卒業論文について各自発表(2)		
卒業論文の進み具合を確認します。卒論の大まかな流れを発表してください。		配布資料 研究課題とその進め方
第15週：卒業論文について各自発表(3)		
卒業論文の進み具合を確認します。卒論の大まかな流れを発表してください。		配布資料 研究課題とその進め方
第16週：期末試験		
特に実施しません。		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリ Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	就職活動も卒業論文の作成もつながっています。何事にも自らが主となって動いてください。
【知識・理解】	論文を書くには、多くの資料を集める必要があります。まず集めて、よく読み込んで、それに対する自分の考えをまとめましょう。
【技能・表現・コミュニケーション】	ゼミにおいては、毎回一度みんなの前で自分の考えを発表していただきます。この際に、どういう順に発表するかよく考えてみましょう。何回もするうちに表現力もアップするでしょう。
【思考・判断・創造】	いつもなぜ、なぜと考えてください。社会人になると自ら考えないとイケません。単に暗記するだけでなく、その背景や問題点を考えてみましょう。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		30点	20点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		30点		
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			10点	
(「人間力」について)				
※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を楽しむ、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	原則として、毎回の講義で課題を出し、全員に発表していただきます。発表を持って出席に代えますので、遅刻せずに課題を解いて発表してください。達成水準の目安は以下の通りです。Sレベル:達成目標を満たしている。Aレベル:ほぼ満たしている。Bレベル:なんとか満たしている。Cレベル:一部分満たしている。
発表・その他 (無形成果)	授業の中で適宜質問します。質問に対する解答については、成績評価において加点することがあります。